



松百隠士七十六歳書画



常陸の。水石の煙草を人買ふ必きや井といふありあ。
 今ハ只此惡の花よ至るまで。や井の名をば
 濫用。人を欺く軍の惡き契をばいせん。此煙の
 深く研究。仰り出せる一考方。豊田と名つものたり。此煙の
 新製ハ其々れ如く。煙の其の最上等。初賣出の
 其日より下を上と云ふの別ちあり。西や東の諸君あり。
 愛敬そのと。ゆづられつ。春をくられ。よの宴自に。涼みの
 タル。秋の。や。女席を。冬。一。の。友
 とあり。常陸の。と。仰り。其の。や。の。以
 ち。種々色々と。て。培養。此。一。葉
 櫻びの優劣法を。辨。や。世。和。煮。り。は。は
 か。一。目。立。つ。此。煙。中。虚。言。り。實。意。一。煙。葉。の。み。た。め。
 有りて。常陸文。下され。と。偏。華。あり。あ。

常陸國を田所西三丁目

豊田本舗

豊田源助謹白

